

食育つうしん

1

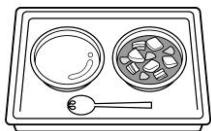
月

発行：大阪市立南港北中学校



1月24日から1月30日は

全国学校給食週間



学校給食は、明治22年山形県鶴岡町の私立忠愛小学校で、貧困家庭の児童を対象に実施されたことが始まりとされています。その後、全国に広がりましたが、戦争のために中断されました。

戦後、食糧難により児童の栄養状態が悪化してきたため、学校給食の実施が必要だという声が大きくなりました。そんな時、海外からも給食用物資を寄贈するとの申し出があり、昭和21年12月24日、東京都で給食用物資の贈呈式が行われました。このことへの感謝の気持ちを込めて、12月24日が「学校給食記念日」と定められました。また、その日より、東京都、神奈川県、千葉県で児童約25万人に対して、試験的に学校給食が実施され、昭和22年1月から学校給食が再開されました。

昭和25年、こうした支援に対する感謝の意を表するとともに、学校給食が戦後再び始まった意義を考えるために、新たに冬季休業と重ならない1月24日から1月30日までの1週間が「全国学校給食週間」とされました。

昭和29年6月に「学校給食法」が制定され、学校給食が児童の心身の健全な発達に果たす役割が重要とされ、教育活動の一環として定着しました。

学校給食法は、その時々の状況に応じ必要な改正が行われてきました。昭和31年に中学校も対象となり、平成21年6月には、食に関する指導の充実を図る観点と衛生管理基準の面から大幅な改正が行われました。



学校給食の目標 (学校給食法 第2条)



- 1 適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ること。
- 2 日常生活における食事について、正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、及び望ましい食習慣を養うこと。
- 3 学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うこと。
- 4 食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについて理解を深め、生命及び自然を敬重する精神並びに環境保全に寄与する態度を養うこと。
- 5 食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め勤労を重んずる態度を養うこと。
- 6 我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めること。
- 7 食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導くこと。



★学校給食の意義や役割について考えてみましょう